

製品名: ATP6V1B1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86766**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:57 kDa; Observed MW:57 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6V1B1
別名	VATB; VMA2; VPP3; RTA1B; ATP6B1
遺伝子 ID	525
SwissProt ID	P15313
免疫原	ヒト ATP6V1B1 の合成ペプチド

背景

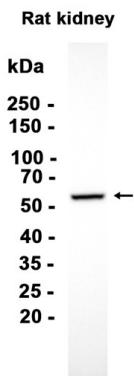
この遺伝子は、真核生物の細胞内小器官の酸性化を媒介するマルチサブユニット酵素である液胞 ATPase (V-ATPase) の成分をコー

ドしています。V-ATPase 依存性の細胞内小器官の酸性化は、タンパク質の選別、チモーゲンの活性化、受容体を介したエンドサイトーシス、シナプス小胞のプロトン勾配の生成などの細胞内プロセスに必要です。V-ATPase は、細胞質 V1 ドメインと膜貫通 V0 ドメインで構成されています。V1 ドメインは、3つの A サブユニット、3つの B サブユニット、2つの G サブユニット、および C、D、E、F、H サブユニットで構成されています。V1 ドメインには ATP 触媒部位が含まれています。V0 ドメインは、a、c、c'、c''、d の5つの異なるサブユニットで構成されています。多くの V1 および V0 サブユニットタンパク質の追加アイソフォームは、複数の遺伝子または選択的スプライシングを受けた転写バリエーションによってコードされています。この遺伝子にコードされているタンパク質は、V1 ドメイン B サブユニットの2つのアイソフォームのうちの1つであり、腎臓に存在します。この遺伝子の変異は、感音難聴を伴う遠位尿細管性アシドーシスを引き起こします。[RefSeq 提供、2008年7月]

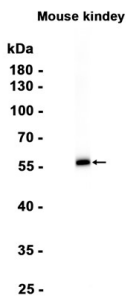
研究分野

-

画像データ



ATP6V1B1 ウサギモノクローナル抗体を 1:2000 で使用してラット腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。



AMRe86766 を 1:1000 で使用してマウス腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。